

富士見台

新人歓迎山行

2018年10月14日（日）

L：やまたくお、服部文鳥、坂野、磯部 S、磯部 N、ハンブルグの星、宮本久保田 J、池田 T、犬山、藤田 M、和利、秋山、廣瀬、松浦、杉田、非 1 名、鈴木 K（記）

新人歓迎山行ということで、私を含め 3 名の新人の為に山行を計画していただいた。

場所は富士見台。富士山が見えないのに富士見台という不思議な名前の山である。

前泊組は夜 10 時頃に登山口に到着してテント設営、宴会という流れとなった。

外は小雨が舞う中、自己紹介や山の話題で時間があっという間に過ぎ、就寝したのは 3 時過ぎというありさま。

それでも 6 時 30 分に目を覚まして山に登ろうというのだから、皆さんの体力は底がしれない。

3 時間ほど仮眠を取って起床してみると外は雨で昨夜よりも強くなっている。

当日組とも合流して寝ぼけ眼をこすりながら山行準備をするが、この天候で本当に登るのだろうか？リーダーは悩んでいるようだ。

悪天候下での登山は大変だが、せっかく来たのだから登ってみたい。

結局酔い覚ましも兼ねて登ろうということになり、体調不良者 1 名と寝ていた 1 名をテントキーパーとして残し、雨具を着込んで 8 時頃登山を開始した。

登山道自体は難しいところは無く、森の中をどんどん登っていく。登山開始から 1 時間ほどで雨も止んで歩きやすくなってきたのだが、いかんせん眠い。

重たい足を引きずって 2 時間ほど歩いたところで萬岳荘という山小屋に到着した。萬岳荘はとても綺麗で車道も通っており、家族連れでも楽しめそうな小屋だった。

萬岳荘を超えると今まで森林だった山道が笹原に変わり、一気に視界が開けてくる。雨はやんだものの未だ雲が多くて遠くまでは見えないが、気持ちのいい道だ。

萬岳荘を越えて稜線に出ると背後に恵那山の巨体がよく見えた。天気が良いとどこまで見ることが出来るのだろうか。

稜線に出て少し歩くと山頂に到着。風が強くとじっていると寒くなってくる。皆で写真を撮った後に食事を取り、景色を楽しんだら下山開始。下山も眠気との戦いだった。

全体として歩きやすく、長すぎず、上に行くとも視界も開けて初心者でも楽しめる良いコースだと思った。

また、多人数の登山ということで多くの方から山の話聞くことが出来たのも楽しかった。この山に冬に登ったという話も聞いたので、山岳会の方たちから見ると富士見台は冬に登る山なのかもしれない。

私は冬山未経験なので、すごいなと思いながら話を聞いていたが、せっかく山岳会に入ったのだ。今冬は私も・・・と決意を新たに山行となった。

ところで富士山が見えない富士見台にはちゃんと名前の由来があるそうだ。

山頂部分の展望が素晴らしいこの山に登った人は当然のように富士山を探すそうだがこの山からは富士山を見ることができない。

でも富士山が見たい →
富士見たい →
富士見台
と変わっていったそう。

・・・ダジャレでしたか。